

セキュリティについて

ハードとソフトの両面からセキュリティ向上につとめ、安心・安全な運用を提供いたします。



会社概要

Company Profile

大規模災害への備え DR(災害対策)センター

- 01 東京センターが罹災した場合は、大阪DRセンターに切り替わり、引き続き、安定したクレジットの運用を提供いたします。
- 02 適宜データのバックアップ・遠隔地保管を実施し、データ消失に備えております。
- 03 電力会社から2系統での受電を受けており、給電が停止した場合でも、24時間以上継続して、稼動できる自家発電機を設置しております。
- 04 国際規格のISO27001に準拠した、「日本カードネットワーク事業継続計画」を策定し、適宜見直しを行っております。



ISMSの取得

CARDNETは2004年1月に情報セキュリティーマネジメントシステムの国内規格である「ISMS認証」を他の情報処理センターに先駆けて取得し、2006年10月には、国際規格である「ISO27001」へ移行しています。



IS81742 ISO/IEC27001 JIS Q27001
認証範囲：カードビジネスの決済関連情報処理業務

PCI DSSの取得

PCI DSS とは、クレジットカード情報を処理・保存・伝送するなど全ての工程を対象とし、クレジットカード情報を保護するため、JCB、VISA をはじめとする国際カードブランド5社が共同で制定した国際セキュリティ基準です。

●審査機関：NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

- 2007年 CARDNETオンラインセンター
- 2009年 JTRANS伝送センター
- 2010年 第二公共料金決済センター
- 2011年 3-D Secureシステム
- 2012年 第一公共料金決済センター
- 2015年 Jmanagerセンター / JSTORAGE for JET-S センター
CARDNET-Cloudセンター
- 2019年 J-Helix
- 2020年 Amazon GW / CARDNET-Cloud Assist Platform
CARDNET 3DS Serverシステム



●審査機関：BSIグループジャパン株式会社

- 2018年 J-Mups センター



"キャッシュレスの未来"へつなぐ **CARDNET**®

私たちは、世界中の加盟店様・カード会社様、そしてユーザー様が自分らしい決済ができるよう、
安心して安全な社会インフラとしてのクレジット決済サービスを次々と創造しています。

決済は、世界中の人々が当たり前に行うこと。

決済が自由になれば、毎日がもっと豊かになっていくと私たちは信じています。

「"キャッシュレスの未来"へつなぐCARDNET」

この思いの実現に向けて、私たちはさらに進化し続けます。

Our VISION

国際社会・地域社会に貢献するとともに
多様な文化・価値観を尊重し、その発展に
寄与する機能・サービスの開発に努めます。
また、常にお客様本位の視点で業務に取り
組み、自律的な品質向上活動を実践します。

Our MISSION

クレジットカード業界における決済ネット
ワークインフラを提供する会社として、持続
可能な社会の発展に向けて「企業の社会に
対する責任(CSR)」を果たします。

Our VALUES

優れた機能およびサービスの提供・情報
セキュリティの向上などを通じて、業務効率
の向上、安定したシステム運用などの付加
価値で、お客様のビジネスの発展に寄与
いたします。

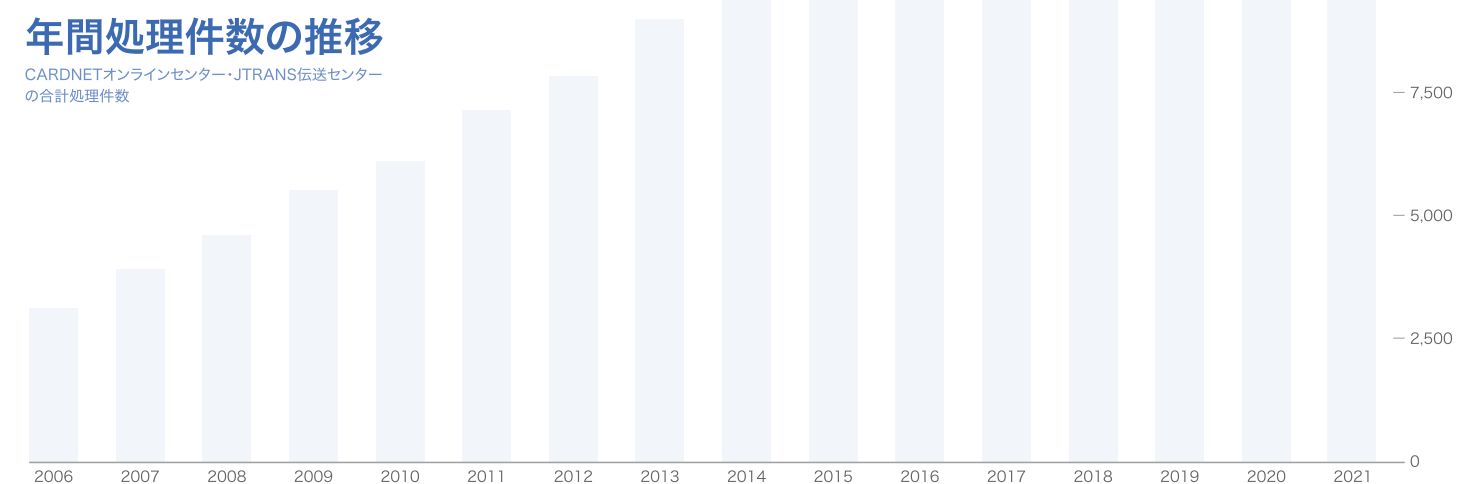
CARDNETのあゆみ

多くのお客様に支えられ、CARDNETは更なる発展を目指します。

1995	日本カードネットワーク設立	2011	EC決済用本人認証サービス 「3-D Secure」ASP提供開始	(百万件) ー 32,500
1996	JET-STANDARDサービス開始 オムロン CATS200「JET-STANDARD」設置開始 CARDNET初のCCT(共同利用ギャザリング)端末		パナソニック JT-C07「JET-STANDARD」設置開始 機能を限定、コスト低減を追求した低価格端末	
1997	オムロン CATS200I「JET-ISDN」設置開始 業界初のISDN回線(Dchパケット対応)端末	2012	JSTORAGEサービス開始	ー 30,000
	ダイレクト接続サービス開始 (センター間接続/各種代行/イシュアダイレクト開始)		東芝テック CT-4100「JET-STANDARD」設置開始 初の大画面カラータッチパネル装備	
1999	J-Debitサービス開始		オムロン CATS300「JET-STANDARD」設置開始 初のプリンタ分離型	ー 27,500
2000	EC決済サービス開始	2013	JET-S 端末 クラウド型電子マネー対応開始	ー 25,000
2001	ICクレジット対応開始	2014	リンクプロセッシング「JET-Smart」設置開始 業界初 スマートフォンを活用したCCT端末	
	オムロン CATS220「JET-STANDARD」設置開始 初の接触型IC対応端末	2015	パナソニック JT-C17「JET-STANDARD」設置開始 世界初EMV Contactless 4 ブランド認定取得	ー 22,500
2002	リアルタイム口座振替サービス開始	2016	Ingenico iWL250「JET-MOBILE」設置開始	
	パナソニック JT211AA「JET-STANDARD」設置開始 初のパナソニック製JET-S端末		CARDNET-Cloud for POSサービス開始	ー 20,000
	公共料金決済サービス開始		東芝テック CT-5100「JET-STANDARD」設置開始	
2004	オムロン CATS240「JET-STANDARD」設置開始 初の非接触型IC対応端末		CARDNET トークナイゼーションサービス開始	
2005	JRみどりの窓口接続開始	2018	「J-Mups」センター事業承継	ー 17,500
2006	東芝テック CT-3100「JET-STANDARD」設置開始 初の東芝テック製JET-S端末		JSTORAGE for JET-Sサービス開始	
	JET-S端末での交通系IC(Suica)対応		コード決済サービス開始	ー 15,000
2007	JTBと業務提携「C→REXセンター」構築	2019	非対面決済GW「J-Helix」リリース	
	国内初 POSのIC対応		クラウド型JET-S端末「JET-STANDARD(Cloud)」 設置開始	ー 12,500
2010	CARDNETセンター「銀聯カード」取り扱い開始	2020	APIマネジメント基盤(J-Infinity)サービス開始 「tance株式会社」設立	ー 10,000

年間処理件数の推移

CARDNETオンラインセンター・JTRANS伝送センター
の合計処理件数



CARDNETの全体イメージ

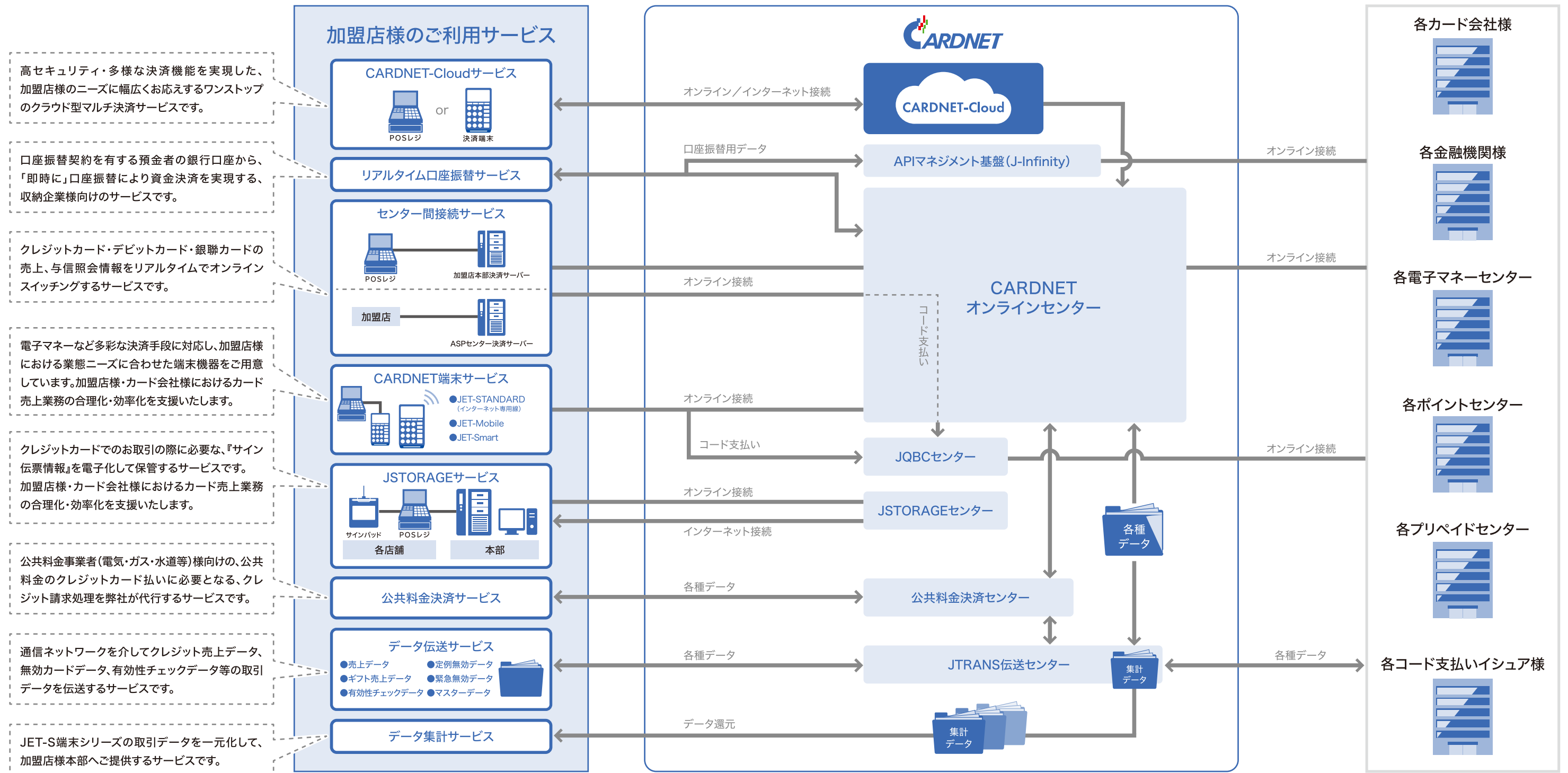
CARDNETが提供するサービスをご活用いただくことにより、加盟店様・カード会社様におけるカード売上業務の合理化・効率化を支援いたします。

加盟店様における
メリット向上

カード
利用分野の
拡大

インフラへの
投資コスト
削減

効果的な
加盟店様
サポート



会社概要

■ 設 立	1995年3月16日
■ 資本金	4億8,000万円
■ 株 主	(株)ジェーシービー、(株)エヌ・ティ・ティ・データ、三菱UFJニコス(株)、 TIS(株)、SMBCファイナンスサービス(株)、イオンフィナンシャルサービス(株)、 (株)オリエントコーポレーション、(株)クレディセゾン、 (株)ジャックス、(協)エヌシー日商連、(協)日本専門店会連盟、 三井住友トラストクラブ(株)、(株)UCS、ライフカード(株)以上計14社
■ 子会社	tance株式会社以上計1社
■ 主な業務	○オーソリゼーションデータのスイッチングサービス ○売上データ・有効性チェックデータ・無効カードデータ等の受配信サービス ○加盟店様の決済業務支援サービス ○カード会社様の業務支援サービス ○新決済システムの開発・提供
■ その他	1995年 日本クレジットカード協会／情報処理センター登録 1999年 日本デビットカード推進協議会／賛助会員登録 2003年 日本マルチペイメントネットワーク推進協議会／賛助会員登録 2004年 ISMS認証Ver.2.0、BS7799-2002 取得 2005年 AIS認定取得 2006年 ISO27001/JISQ27001へ更改 2007年 「CARDNETオンラインセンター」PCI DSS認定を取得 2009年 「JTRANS伝送センター」PCI DSS認定を取得 2010年 「第二公共料金決済センター」PCI DSS認定を取得 2011年 「3-D Secureシステム」PCI DSS認定を取得 2012年 「第一公共料金決済センター」PCI DSS認定を取得 2015年 「Jmanagerセンター / JSTORAGE for JET-Sセンター」、 「CARDNET-Cloudセンター」PCI DSS認定を取得 2016年 日本クレジット協会 / 準会員登録 2018年 「J-Mups」センター事業承継(PCI DSS認証取得済) キャッシュレス推進協議会／会員登録 「PCI P2PE ソリューション」のプロバイダ認定を取得 「3-D Secure(ACS/DS)」PCI 3DS認証を取得 2019年 「J-Helix」PCI DSS認定を取得 2020年 「Amazon GW」「CARDNET-Cloud Assist Platform」PCI DSS認定を取得 「CARDNET 3DS Serverシステム」PCI DSS/PCI 3DS認定を取得

主なサービスご利用クレジットカード会社様一覧

銀行系	(株)ジェーシービー／三菱UFJニコス(株)／三井住友トラストクラブ(株)／三井住友カード(株)／ユーシーカード(株)／ アメリカン・エクスプレス・インターナショナル・インコーポレイテッド／すみしんライフカード(株)
信販系	(株)ジャックス／(株)オリエントコーポレーション／(株)アプラス／SMBCファイナンスサービス(株)／ライフカード(株)／ (株)エヌ・シー・ビー／(株)オーシー／九州日本信販(株)／楽天カード(株)／(株)宮崎信販／山陰信販(株)／(株)エヌケーシー／ (株)OCS／ヤマトクレジットファイナンス(株)／ワイジェイカード(株)
流通系	(株)クレディセゾン／(株)UCS／イオンフィナンシャルサービス(株)／東急カード(株)／ JFRカード(株)／(株)エムアイカード／高島屋クレジット(株)／ポケットカード(株)／(株)東武カードビジネス／ (株)ゆめカード／(株)井筒屋ウィズカード／(株)エポスカード／(株)セブン・カードサービス／ 天満屋カードサービス(株)／(株)ペルソナ
運輸・ 通信系	(株)ビューカード／NTTファイナンス(株)／(株)京阪カード／ヤフー(株)／ SBペイメントサービス(株)／(株)いよてつカードサービス／auフィナンシャルサービス(株)
メーカー系	三菱電機クレジット(株)／トヨタファイナンス(株)／(株)日産フィナンシャルサービス
独立系	モデルクレジット(株)／(株)ダイイチ
日専連	(株)日専連／(株)日専連旭川／(株)日専連釧路／(株)ニッセンレンエスコート／(株)日専連ホールディングス／ (株)日専連ライフサービス／(株)日専連静岡／(株)日専連ベネフル／シティックスカード(株)／ (株)日専連ファイナンス／(株)日専連ニックコーポレーション／(株)日専連ジェミス／ (株)日専連パートナーズ／(株)日専連ソニック／(株)日専連パシフィック
日商連	(協)エヌシー日商連／(株)ほくせん／(株)エヌシーおびひろ／(株)えるく／(株)モデル百貨／ (株)エヌシーくまもと／(株)エヌシーガイドショップ

敬称略、順不同、2022年8月現在

CARDNET-Cloudサービス

高セキュリティ・多様な決済機能を実現した、加盟店様のニーズに幅広くお応えするワンストップのクラウド型マルチ決済サービスです。

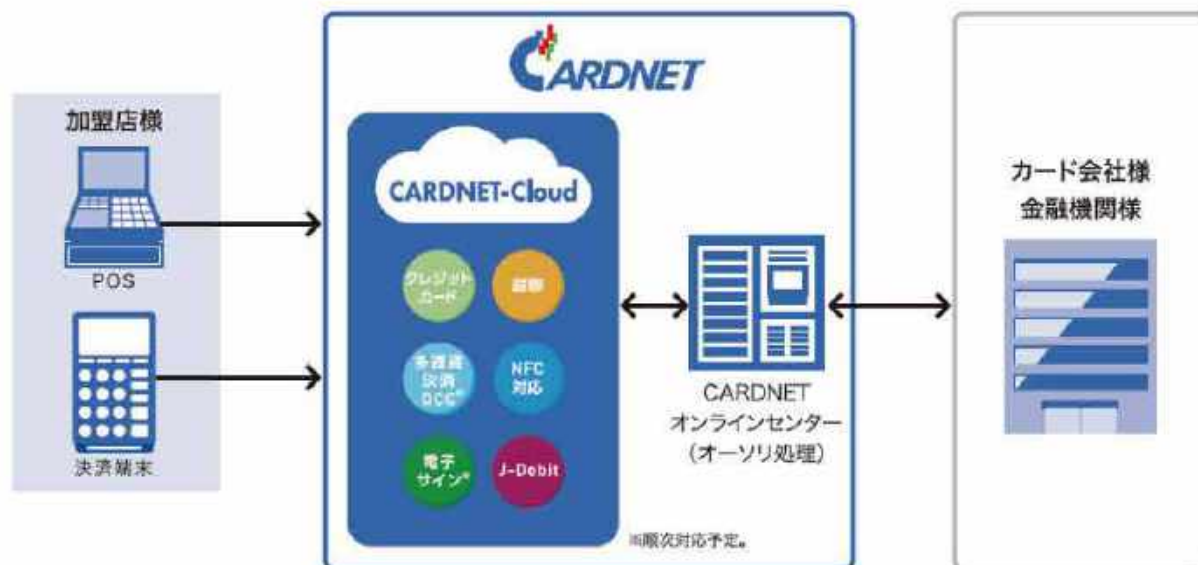


> CARDNET-Cloudサービスについて

クラウド型決済サービスで、様々な決済機能をセンターに具備することで機能追加の簡易化とセキュリティの強化を図るものです。

「CARDNET-Cloud」は、クレジットをはじめ、銀聯、多通貨決済(DCC※)、NFCペイメント(非接触クレジット)などの多様な決済機能を備える次世代ソリューションです。マルチかつワンストップの決済サービスで加盟店様のニーズに応え、決済業務の簡素化と効率化を実現します。また、クラウド型サービスの特性を活かし、POS側にクレジット番号情報を残さず、カードから読み取った直後に暗号化し保護するシステムで高度なセキュリティをご提供いたします。

※DCC: Dynamic Currency Conversion 多通貨決済



POS(タブレットPOSを含む)に「CARDNET-Cloud」の決済パッケージを導入することで、ご利用が可能となります。

サービス導入 4 つのメリット

決済機能のワンストップ化

クレジット、電子マネー、NFCペイメント(非接触クレジット)など様々な決済機能にワンストップで対応いたします。(機能は順次追加予定)

高セキュリティレベル

読み取ったカード情報を端末で即座に暗号化・送信することで、端末にカード情報を残しません。PCI DSS認定を取得しており、国際基準のセキュリティレベルを実現しています。

01

02

03

04

システムのトータルコスト軽減

セキュリティ対策や機能追加のためのコスト・業務負担の軽減が可能です。

カード情報の非保持化を実現

強固なセキュリティをもつ暗号鍵方式として「DUKPT」を採用。PCI P2PEやトークナイゼーションといったセキュリティサービスに対応しています。

> カード情報の非保持化、および、PCI DSS準拠に必要なセキュリティサービス

DUKPT

CARDNET-Cloudでは、ANSI9.24^{※1}規定の暗号鍵方式「DUKPT」を採用しています。決済端末とCARDNET-Cloudセンター間での通信のたびに異なる暗号鍵を使用することで通信のセキュリティ強度を高めてデータを保護します。

PCI P2PE^{※2} <オプションサービス>

PCI SSC^{※3}が定める国際的な情報セキュリティ基準。決済端末で読み取ったカード情報を即時に暗号化し、CARDNET-Cloud(「PCI P2PEソリューションプロバイダ」として認定取得予定)で復号する仕組みです。端末・POS等、復号前に通過するシステムにおいて、カード情報は「非保持」となります。また、PCI DSS準拠のための負荷を大きく削減(331項目→33項目)することも可能です。

トークナイゼーション <オプションサービス>

カード情報を保持することが必要な場合に有効なサービスです。カード番号をトークン(乱数により生成した別の値であり、カード番号とは見做されません)に置き換えることでカード情報を「保存」・「処理」・「通過」するシステムの範囲を必要最小限に抑えることが可能です。

※1 ANSI = American National Standards Institute 「米国規格協会」

※2 P2PE = Point to Point Encryption 「特定のポイント(端末)からポイント(決済ASPセンター)までの暗号化」

※3 PCI SSC = Payment Card Industry Security Standards Council 国際カードブランド5社が共同で設立、クレジット業界におけるグローバルなセキュリティ基準を策定し運用・管理している。

公共料金決済サービス

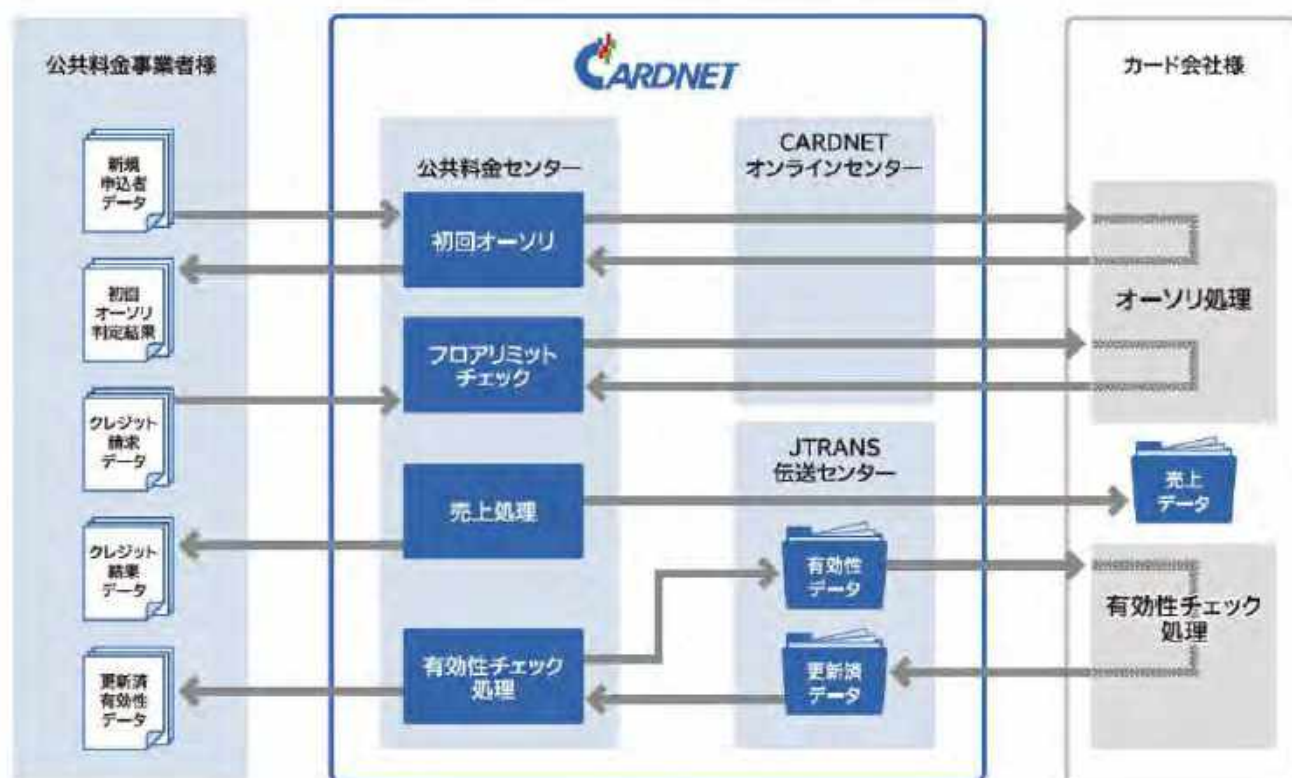
公共料金事業者(電気・ガス・水道等)様向けの、公共料金のクレジットカード払いに必要な、クレジット請求処理を弊社が代行するサービスです。



公共料金決済サービスについて

公共料金業界で多数の接続実績があり、最小限の改修のみでクレジット対応が可能となります。また、経験を生かした万全なサポート体制をご用意しております。

オーソリ処理(カード会社に対して、カード会員の与信を確認する業務)、売上処理(売上をカード会社へ送る業務)、有効性処理(請求対象カード会員の「与信判定」、「カード番号の変更確認」、「カード有効期限の更新」を行う業務)といった、公共料金をカード決済するために必要な機能をパッケージ化し、ご提供します。個人情報保護対策として、ID変換機能を標準装備しておりますので公共料金事業者様にてカード番号、有効期限を管理する必要がなく、情報漏洩リスクを軽減させることが可能です。



サービス導入 4つのメリット

簡易な請求処理の実現

公共料金事業者様にあわせたデータをカード会社様ご指定のデータ形式に変換し、配信するため、複雑な請求処理が不要です。

ID変換機能を標準装備

初回登録時に、カード番号・有効期限に加えてお客様番号を同時に登録いただくことにより、以降は、お客様番号のみでのカード請求が可能となります。

01

02

03

04

万全のサポート

公共料金決済市場における十分な実績をベースにして、導入準備から運用開始に至るまでご満足いただけるサポートを実現します。

セキュリティ体制

当社は、ISO27001認証を取得しており、情報セキュリティの管理システムを確立しております。また、クレジットブランド会社推奨の「PCI-DSS 認定」も取得しております。

> 個人情報保護対策について

ID変換機能

- 公共料金事業者様から、公共料金サービス利用者のIDと利用料データを受信し、当社センターにて、IDをもとにカード情報へ変換の上、データ処理を行います。初回登録時以降は、IDをもとにデータ授受を行うため、公共料金事業者様の情報漏洩リスクを軽減させることが可能です。

申込書登録～保管までの業務委託(オプション)

- 公共料金事業者様が行う、申込書登録作業を実施のうえ、保管までを弊社で行います。

センター間接続サービス

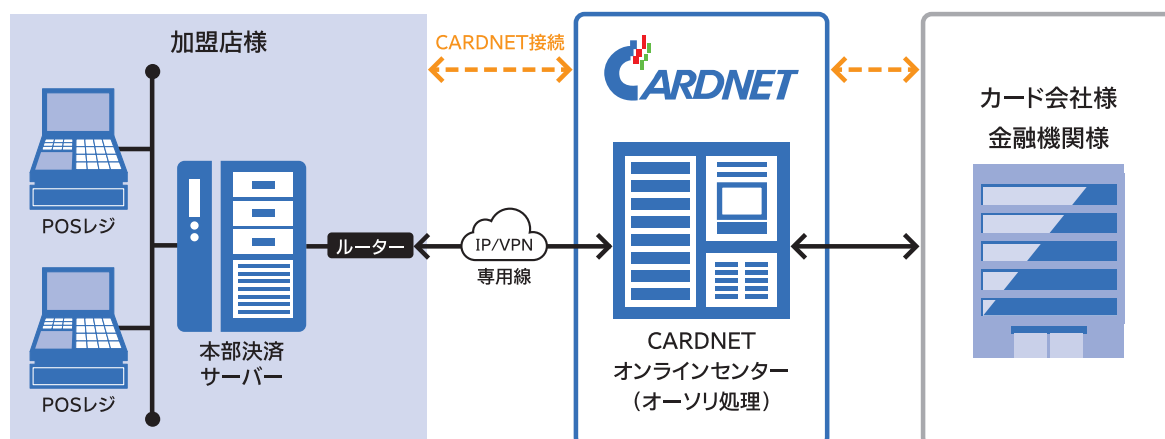
クレジットカード・デビットカード・銀聯カードの売上・与信照会情報をリアルタイムでオンラインスイッチングするサービスです。



センター間接続サービスについて

カード売上・オーソリ情報などの取引データを、リアルタイムでカード会社様センターへ中継するサービスです。

センター間接続サービスとは、POSをご利用されている加盟店様の本部決済サーバーと各カード会社様をCARDNETセンターがリアルタイムで接続し、カード売上・オーソリ情報などをオンラインスイッチングするサービスです。国際情報セキュリティ規準に準拠したCARDNET手順による接続と安定したネットワークにより、24時間ノンストップで運用が可能です。また、加盟店様のニーズに応じて様々なオプションサービスをご用意しております。保守・運用に関してもセンターデスクが24時間365日体制でご対応いたします。



センター間接続サービスの導入にあたって、CARDNET手順対応の「センター間接続パッケージ」と「回線事業者 (VPN)」を選んでいただく必要があります。加盟店様センターにご用意いただいた「オンライン接続サーバー」上に、ISO規格準拠「CARDNET手順」をサポートし、弊社センターと直接接続するパッケージソフトをご導入いただきます。

サービス導入 4つのメリット

加盟店様の負担軽減

各カード会社様センターとのオンライン精査はCARDNETセンターとの間で行います。加盟店様にてご対応いただく必要がないため、業務負担を軽減します。

安定したネットワークと信頼性

CARDNET手順は、国際標準規格ISO8583（93年度版）に準拠しており、ICカード取引等の今後の拡張性にも優れております。また、万一の災害時の備えも万全です。

※国際規格の暗号鍵管理システム

運用費の削減が可能

サービス費用と通信費が取扱件数に影響されない定額制なので、運用費の削減が可能です。

多彩なオプションサービス

加盟店様のニーズに合わせて様々なオプションサービスをご用意しております。

> CARDNET接続の特徴

国際標準規格の電文仕様

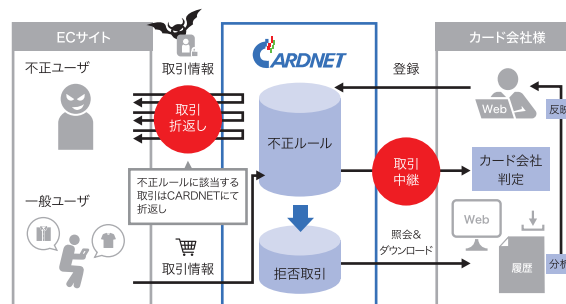
- CARDNET手順は国際標準規格（ISO8583/93年度版）に準拠し、IC化においても柔軟に対応可能です。
- CARDNET手順では電文全体を暗号化処理し、個人情報保護の観点からも安全・確実な接続サービスをご提供しております。

安定した業務運用

- 弊社センターは本番・待機機による二重化を実施しており、万が一の障害時に本番機がダウンしても待機機に切り替え運用が可能です。
- 大規模災害を想定した「DR（災害対策）センター」も構築しており、安定したセンター運営をご提供します。
- カウンター交換はカード会社様⇄弊社の2センター間でのオンライン精査にて実施し、時間制限もなく、加盟店の営業時間が日跨ぎする場合でもクレジット取引に影響なく処理が可能です。

CARDNET Transaction Managerについて

- 接続カード会社様向けのオプション機能として、CARDNET Transaction Managerを提供しております。
- 本サービスは、カード会社様ご指定の拒否条件を満たした際に、取引をカード会社様まで中継せず、仕向元に拒否応答するサービスです。カード会社様システムへの追加投資を抑えながら、サーバーダウン等による真正取引阻害の防止や不正取引の被害最小化の効果が期待できます。



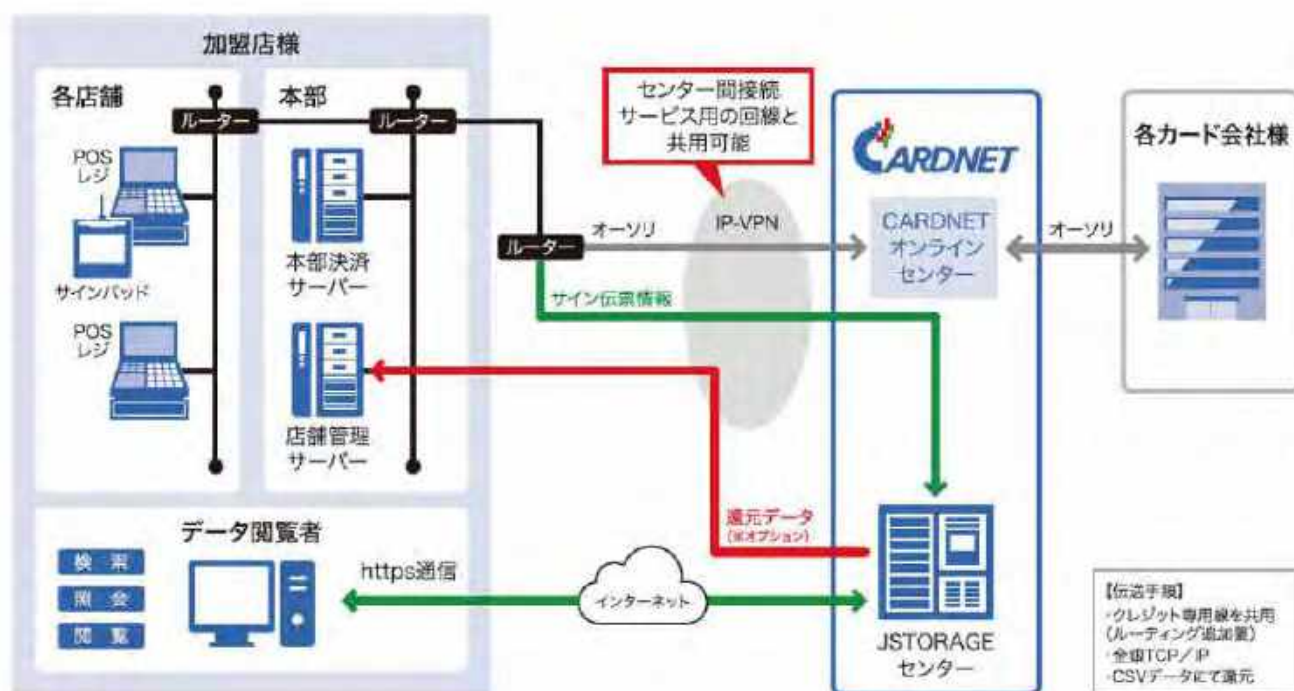
JSTORAGEサービス

クレジットカードでのお取引の際に必要な、
『サイン伝票情報』を電子化して保管するサービスです。

> JSTORAGEサービスについて

保管したサイン伝票情報は、伝票検索管理画面からいつでも検索・照会・印刷が可能です。本サービスは、『センター間接続サービス』の付加サービスです。

JSTORAGEサービスでは、クレジット取引における伝票情報を電子化し、紙による伝票出力を省略します。また、サインパッド付属の場合、サインパッドにサインをいただくことで自筆のサインも電子化し、保管することができます。保管した伝票情報は、インターネット回線を通じてサイン伝票の検索・照会・印刷が可能となり、問い合わせ発生時等の迅速な対応が可能となります。さらに、加盟店様の各店舗、各テナント様からの伝票回収業務や内容・枚数チェック等の業務負担を軽減、レジロール紙費用やサイン伝票の発送・保管コストを削減することが可能です。



サービス導入 4 つのメリット

サイン伝票運用リスクを回避

サインのもらい忘れ、伝票の渡し間違い、サイン伝票紛失といった日常業務のリスクを回避できます。さらに、サイン伝票の整理や仕分け作業が不要なため、レジ閉め作業も簡略化できます。

クレジット売上の総合管理

クレジット売上データの総合管理が可能になります。オプションの「データ還元サービス」を利用することで店舗側と本部側での伝票データ突合が可能になり、運用ミスにも迅速に対応が可能です。

01

02

03

04

関連コストを削減

レジロール紙費用やサイン伝票の保管費用、保管スペースへの発送費用等を削減できます。

管理業務が簡単・便利に

加盟店様本部にてサイン伝票の管理業務が簡単・便利になります。また、問合せ発生時の検索作業の迅速化が可能です。

> 伝票の電子化について

伝票の電子化について

サインパッドを利用しないIC端末や、紙伝票によるサイン受領時、カード利用者のサイン記入の拒否、緊急な手書き対応時であっても伝票記載情報は原則、情報保管センターに送信します※。これによりクレジット取引のデータ管理が容易に可能です。

※POSベンダによっては送信を行わない場合もございます。

電子ファイルアップロード(標準機能)

スキャナーなどで電子化されたファイルをWebからアップロードすることが可能です※。

※アップロード機能の活用可否につきましては、POSメーカー様の仕様により異なります。

データ伝送 / Web-JTRANSサービス

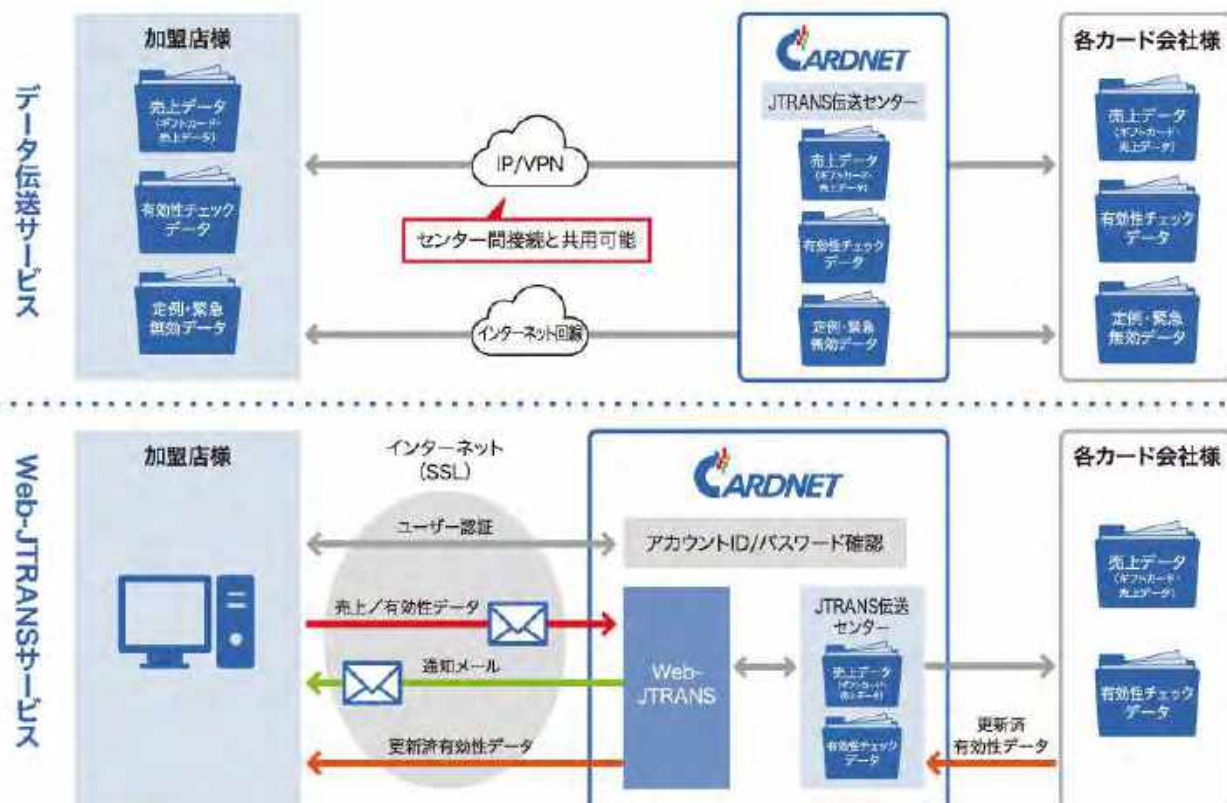
通信ネットワークを介してクレジット売上データ、無効カードデータ、有効性チェックデータ等の取引データを伝送するサービスです。



データ伝送 / Web-JTRANSサービスについて

大量のデータを授受する加盟店様向けの「データ伝送」、メール等でデータを授受する加盟店様向けの「Web-JTRANS」の2種類の方式をご用意しております。

加盟店様の運用状況に応じて2種類の方式からお選びいただけます。「データ伝送サービス」は、通信ネットワークを介してクレジット売上データ、無効カードデータ、有効性チェックデータ等の取引データを伝送するサービスです。「Web-JTRANSサービス」は、インターネットメールを利用してクレジット売上データと有効性チェックデータの授受を行うサービス*です。データ授受における業務の効率化、省力化が可能です。 ※オーソリゼーション取得は対応しておりません。



サービス導入 4 つのメリット

業務作業の負担を軽減

適用データの受渡管理が一元化されますので、従来のMT作成・発送作業にかかる事務処理コストが大幅に削減されます。

システム投資の費用削減

カード会社様毎のネットワークを構築する必要がなくなるため、加盟店様におけるネットワーク構築に関するシステム投資が大幅に削減されます。

01

02

03

04

個人情報保護対策に最適

データ集配信時の暗号化(SSL)に加え、データファイルの暗号化(COMPLOCK、CICロック)にも対応しており、個人情報保護対策として最適です。

各種取扱データの配信

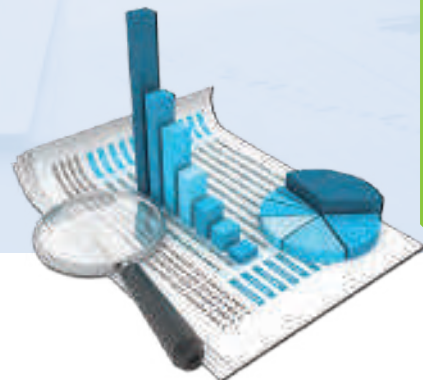
売上データ、緊急・無効通知データ、有効性チェックデータの他に、オンライン端末サービスの集計データ、デビットカードの加盟店様売上明細データ、ギフトカード売上データ、マスターデータの取り扱いも可能です。

> サービスの比較

	データ伝送サービス	Web-JTRANSサービス
システム開発対応	各種データの作成・取込に加え、伝送に伴う回線敷設や伝送システムの構築が必要。	売上・有効性データの作成・取込が可能であれば、特別な開発は不要。※インターネット接続環境のみ
導入期間	申込後より約3ヶ月にて本番運用可能。 ※模倣試験の実施が必要	申込後より、約1.5ヶ月にて本番運用可能。
処理の自動化対応	加盟店様とのシステム連動による、自動化処理が可能。	都度、加盟店様にてログインの上、処理を実行する必要がある。
通信環境	(通信手順)全銀TCP/IP、全銀BASIC、HULFT、SFTP、EDIINT AS2 (通信回線)インターネット、JR-NET、Master'sONE	(通信手順)SSL通信(鍵長128bit) (通信回線)インターネット
データ種別	①売上データ、②有効性チェックデータ、③定例無効データ、④緊急無効データ、⑤ギフト売上データ、その他各種データの取扱が可能。	①売上データ、②有効性チェックデータ

データ集計/Jmanagerサービス

JET-S端末シリーズの取引データを一括加工して
加盟店様本部へご提供するサービスです。

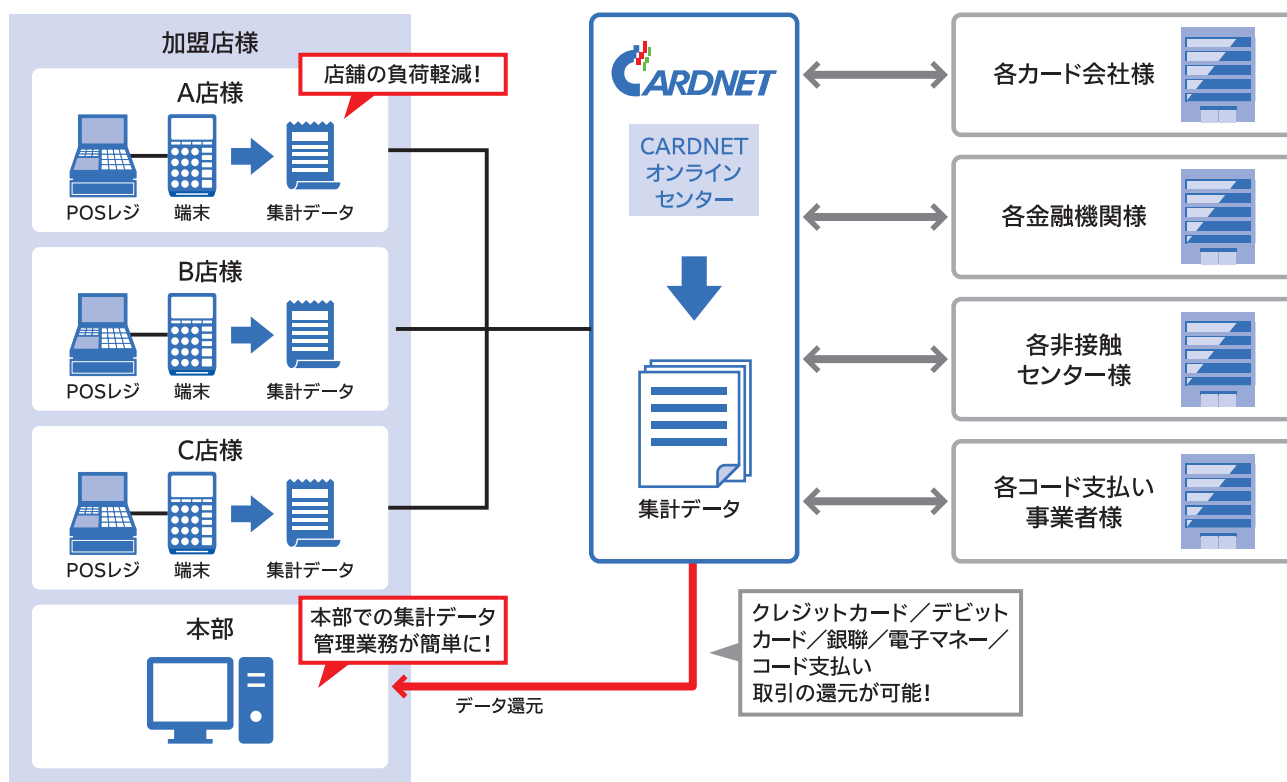


データ集計/Jmanagerサービスについて

加盟店様各店舗から集計データを集めて一元化することで、各種データ取り扱いに関する日常業務を効率化します。ご希望の方法でデータを還元いたします。

加盟店様各店舗でのクレジット、デビット、電子マネー、コード支払い取引等の集計データのとりまとめや本部への報告業務、加盟店様本部におけるクレジット決済の明細との照合・管理等の煩雑な日常業務を効率化し生産性の向上に貢献します。また、クレジット／デビット等の取引データと合わせて、加盟店様にてご入力いただいた総売上・現金売上・総客数等の任意の売上レポートデータをご提供することが出来る「売上レポート機能※」のご利用が可能です。

※売上レポート機能をご利用いただくには、弊社の提供する「データ集計サービス」をご利用いただいていることが前提となります（売上レポート機能のみのご利用はできません）。



サービス導入 4つのメリット

01 日常業務の負担を軽減

各加盟店様店舗における手作業でのクレジット・デビット、電子マネー、コード支払い取引データの集計作業が不要になり、加盟店様本部においても事務負担の軽減が可能です。

02 売上データの一括管理

加盟店様本部にて各店舗毎のクレジット・デビット・銀聯・電子マネー・コード支払い取引状況の把握が可能になります。また、各カード会社様から送付されるクレジット決済の明細との照合作業の簡略化も実現します。

01

02

03

04

03 端末がそのまま使える

全てのJET-S端末シリーズに対応しており、端末への機能追加は不要です。お申込みいただければ、現在JET-S端末をご使用のお客様にもご利用いただけるサービスです。

04 データの管理が簡単・便利

インターネットに接続したPCがあれば、管理者は時間・場所を選ばず自由に検索・出力が可能です。

＞ 集計データの還元方法について

還元方法	還元サイクル	サービス内容
データ伝送 (JTRANS)	月1回／月2回 5日毎／日次	全銀TCP/IP手順およびBASIC手順、またはHULFT手順によるデータ伝送サービスを利用し、集計データを加盟店様に還元させていただきます。 ※還元サイクルはあらかじめ登録いただく必要があります。
Web配信	月1回／月2回 5日毎／日次	お知らせメールを配信し、集計データを加盟店様に還元させていただきます。 データ作成完了後は、メールにて通知いたします。 ※還元サイクルはあらかじめ登録いただく必要があります。
Web検索照会 (Jmanager)	日次のみ	インターネット環境を利用し、Web画面にて集計データ検索および検索結果をダウンロードいただけます。データは日次で還元されるため、90日前から前日までのデータを自由に参照することができます。

リアルタイム口座振替サービス

口座振替契約を有する預金者の銀行口座から、「即時に」口座振替により資金決済を実現する、収納企業様向けのサービスです。

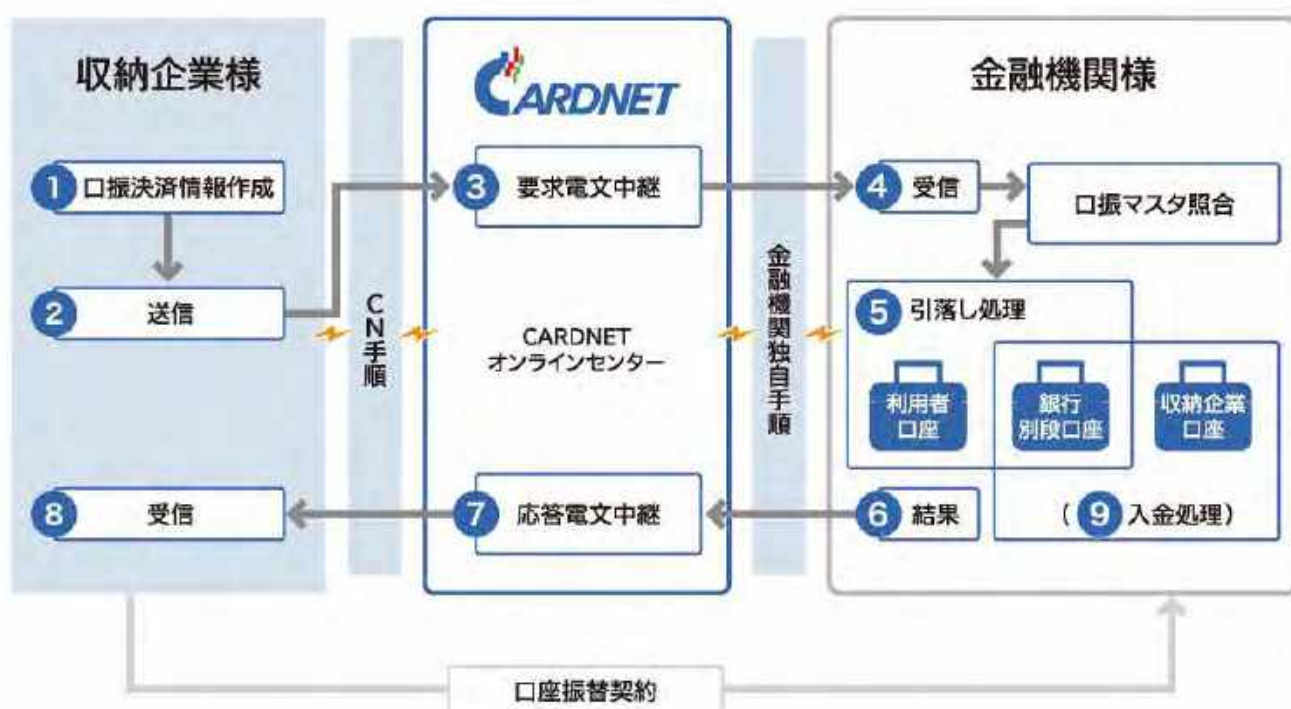


リアルタイム口座振替サービスについて

金融機関様の収納企業様向け即時振替決済スキームとして各業種業態で利用拡大中。
導入収納企業様は、弊社との接続により複数金融機関様との接続が可能※となります。

収納企業様からCARDNETオンラインセンターを経由し、金融機関様に接続いたします。接続に際しては、①弊社指定パッケージのご利用、②ASPシステムのご利用のどちらかをお選びいただけます。ASPシステムは、オプションとして金融機関様提供サービス「Web口座振替受付サービス」、「口座振替契約登録結果還元サービス」に対応いたします（一部金融機関様）。

※ご利用に際しては各金融機関様とご契約が必要となります。



サービス導入 4 つのメリット

口座振替処理の迅速化

通常、約4日間+αの時間を必要とする金融機関における口座振替業務を迅速化し、収納企業様による振替要求から結果通知までの一連の業務を「即時」に実施します。

ワンストップサービス

収納企業様は、CARDNETとの接続のみで、複数金融機関様との接続を実現するワンストップサービス※です。

※口座振替依頼書の送付について、別途確認が必要です。

01

02

03

04

夜間・休日も処理可能

夜間・休日でも金融機関様のオンライン稼働時間内※であれば口座振替処理が可能となります。

※金融機関様により異なります。

選べる接続方法

収納企業様が直接CARDNETと接続する方法と、収納企業様の開発・接続負荷を低減し、短期間で簡単な接続を実現するASPシステムを利用する方法からお選びいただけます。

リアルタイム口座振替サービス：口座振替要求から結果通知まで1件ずつ「即時」に処理。夜間休日問わず引落し



双方向即時振替方式：払出しも「即時」に処理。夜間休日問わず引落し・振出し

※企業入金・出金処理については金融機関様毎に仕様が異なる場合があります。

サービス導入 4つのメリット

優れた対応力と拡張性

タッチ決済、コード支払い、ICカード、電子マネー、銀聯等の最新の決済手段やポイント、売上集計、売上票電子保管等のサービスに対応しています。さらに、tance mallにより機能拡張性が強化されています。

安心・安全な運用体制

24時間365日対応可能なサービスデスクを完備。CARDNETオンラインセンターは国際セキュリティ基準であるPCI DSS認定を取得し、決済端末推奨セキュリティ規格PCI PTSに準拠しています。

顧客ニーズに応える ラインアップ

優れた耐久性と信頼性の高い国内外のメーカー製の決済端末を多数採用し、あらゆる加盟店様のニーズに応える豊富なラインアップをご用意しています。

POS加盟店様の セキュリティ対応を軽減

改正割賦販売法では、POS加盟店様に対して「カード番号の非保持化」を求めています。加盟店様POSとCARDNET端末をPOS連動することにより、カード情報を扱う決済機能が、「外回り」となり、カード番号の非保持化の対応が可能です。

各種機能について

コード支払い

- Alipay、WeChat Payや国内系の各種コード支払いに対応しています。

タッチ決済(コンタクトレス)

- 国際基準のEMV Contactlessに対応しています。

DCC(多通貨決済)

- 訪日外国人旅行者に対して、自国通貨建ての決済を提供。為替変動を気にせずお買物が可能となり、訪日外国人旅行者の利便性・満足度が向上します。

電子マネー

- QUICPay、iD、交通系IC、楽天Edy、nanaco、WAONに対応しています。

売上票電子保管 (JSTORAGE)

- 売上票(カード会社控え)を電子化します。カード会社控えの伝票出力がなくなり、伝票送付等のお店の運用負担を軽減できます。

ポイント・プリペイド機能

- 加盟店様独自のポイント専用カードやクレジットカード会社様と提携したポイントカードをお取扱いいただき、ポイント付与やポイント還元などの処理が実施できます。また、加盟店様独自のプリペイドもお取扱いいただけます。

データ集計サービス

- 端末の取引データをCARDNET側で一括加工し、加盟店様本部へご提供します。

POS連動

- 加盟店様POSレジとCARDNET端末をケーブル接続し、連動を可能にします。

tance mall

- tance mallは、tance株式会社が提供する店舗向けサービスプラットフォームで、店舗運営の課題解消につながる様々なサービスを提供します。

CARDNET端末サービス

多彩な決済手段に対応し、加盟店様における
業態ニーズに合わせた端末機器をご用意しています。

CARDNET端末サービスについて

クレジットカードはもちろんのこと、電子マネー、タッチ決済(コンタクトレス)、コード支払い、ポイント等の多様な決済サービスに対応した豊富なラインアップをご用意しています。

据置型

- 店舗内のインターネット回線やLAN回線へ接続して使用します。また、POS連動も可能です。



JT-VT10
(Panasonic)



CT-6100
(TEC)
※'22/12リリース予定



eZCATS-100C
(OMRON)
※'23/4リリース予定



Lane/5000
(ingenico)
※POS連動専用端末
※'22/12リリース予定

モバイル型

- 持ち運びに便利なモバイル決済端末。場所を選ばずお客様の目の前でカード決済を可能にします。



Move/5000
(ingenico)



M010
(MIURA)

>CARDNET端末のスペックについて

メーカー・型番	Panasonic JT-VT10	TEC CT-6100	OMRON eZCATS-100C	ingenico Lane/5000	ingenico Move/5000	MIURA M010
イメージ				 ※富士通フロンテック社提供	 ※富士通フロンテック社提供	 ※クレメンテック社提供
端末タイプ	据置型	据置型	据置型	据置型 (POS連動専用)	モバイル型	スマートフォン型 (iOS専用) ※1
クレジット／銀聯	○	○	○	○	○	○
J-Debit	○	○	○	○	— ※開発中	—
タッチ決済 (コンタクトレス)	○ ※2	○	○	○ ※2	— ※開発中	○ ※2
電子マネー	○	○	○	○	○	○ ※楽天Edy開発中
コード支払い	○	○	○	— ※開発中	— ※開発中	— ※開発中
CN標準ポイント	— ※開発中	○	○	—	—	—
POS連動	○	○	○	○	— ※開発中	— ※開発中
売上票電子保管	○	○	○	○	— ※開発中	○
tance mall ※3	○	—	—	—	—	—

※1：スマートフォン型のご利用には、別途スマートフォン等が必要です。対応機種 (iOS14以上をサポート) をご用意のうえ専用アプリ (J-MupsII Pocket) をインストールしてご利用ください。 ※2：一部ブランドについて未対応。(未対応ブランド JT-VT10、M010：銀聯、Lane/5000：Diners・Discover・銀聯) ※3：以下の「tance mallについて」の項目をご参照ください。

>tance mallについて

店舗運営の課題解消につながる様々なサービス (アプリ) を提供します。

- tance mallは、tance株式会社が提供する店舗向けサービスプラットフォームです。 <https://www.tance.co.jp/>
- POSレジ・免税・クーポン・予約管理等の店舗業務をサポートできる業務アプリを柔軟に端末に追加することが可能となります。対象アプリ/サービスは順次拡大予定です。
- 端末のお申込とは別にtance mallの所定の手続きが必要です。



APIマネジメント基盤 (J-Infinity)

当社の従来サービスをAPI化し、さまざまな企業と容易に情報の
取得・提供が可能となるプラットフォームです。



> APIマネジメント基盤(J-Infinity)について

J-Infinityは、複数のシステムのスピーディーな接続を実現します。

情報を知りたい企業様が、弊社APIをコールすることで、情報開放をしている企業様との容易な接続が実現し、情報取得が可能になるほか、情報を所持している企業様にとっても、弊社APIへの接続により、情報を知りたい企業様へ多様な機能を容易に提供することが可能になるサービスです。J-Infinityをご利用いただくと、CARDNETセンターなどともシームレスに接続することができます。

展開構想



サービス導入 4 つのメリット

接続容易性

金融機関のオープンAPI体系は整備が進められていますが、各金融機関で異なる場合があります。今後、収納企業からの接続がますます複雑化。J-Infinityによって収納企業と金融機関との仕様アンマッチが解消されることで、収納企業からの接続性が確実に向上します。

ワンストップ

J-Infinityは「情報を知りたい/更新したい企業（仕向企業）」と「情報を所持している/更新できる（被仕向企業）」を、APIを通してマッチングするサービスです。

01

02

03

04

相互接続

J-Infinityは内部で複数APIを相互接続し、アウトプットが可能（残高確認+出金など）。システム内部だけではなく、APIのフロント基盤にて電文変換を実施し、外部センターとの円滑な接続も表現します。

拡張性

参照系・更新系にかかわらず、企業の業務拡大によって必要となる情報にも柔軟に対応します。

＞ 今後の展開について

銀行領域の拡大

- 銀行領域については、リアルタイム口座振替からJ-Infinity機能を活用したサービスを拡大。
- お客様のニーズに合わせた機能拡張により、接続先金融機関様・収納企業様も拡大。

クレジット領域への展開

- J-Infinityで開発したAPIは、クレジット決済領域への展開も見据え構築中。
- 将来的には、ISO20022を見据えた機能拡張を検討中。

CARDNET 3-D Secure ACSサービス2.0

ネットショッピングなど非対面でのクレジットカード決済で、購入者がカード会員様本人であることを認証する、カード会社様向けサービスです。



CARDNET 3-D Secure ACSサービス2.0について

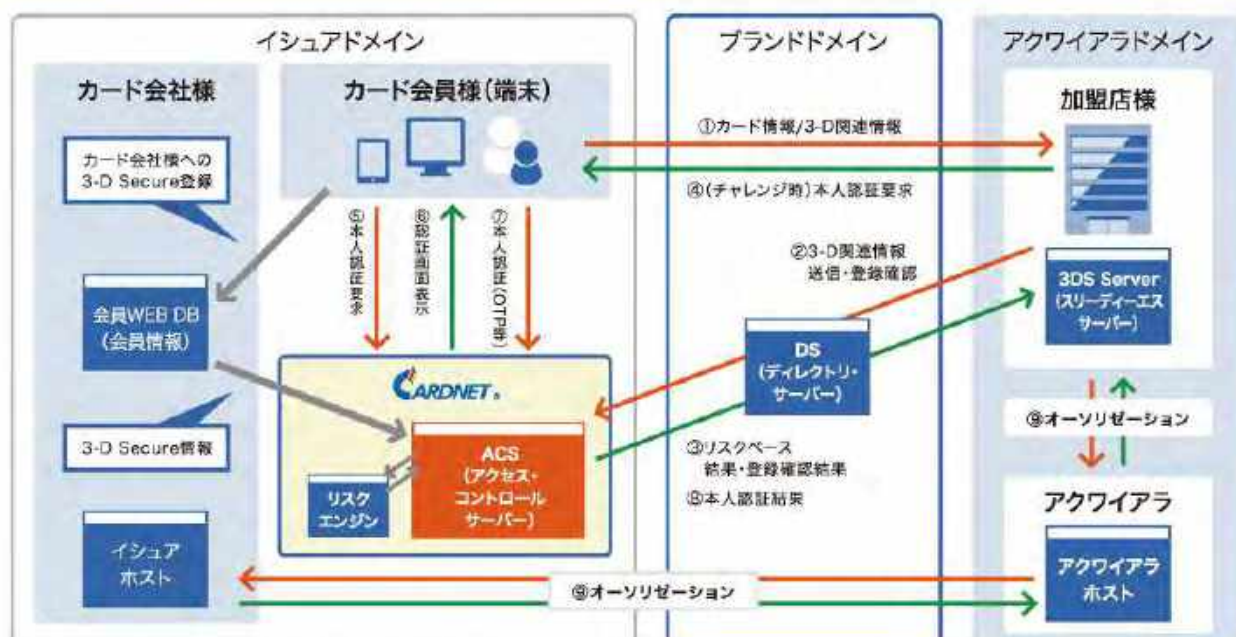
ネットショッピングなど非対面でのクレジットカード決済の安全性を高める本人認証「EMV® 3-D Secure」を、クレジットカード会社様（イシュア）が導入するための認証サーバー「ACS（Access Control Server）」サービスをご提供いたします。

カード決済の安全と普及を促進する国際ブランド6社による技術団体EMVCoが規格化する「EMV 3-D Secure」。不正使用のリスク度合いを利用者の端末の情報や購買履歴等からオンラインで即時に判定する「リスクベース認証」が導入されており、リスクが低い取引については、追加のパスワード入力を省略可能にし、取引離脱の低減を図ります。イシュアが高リスクと判定した場合のみ、ワンタイムパスワードなど、取引ごとに異なる情報を用いる「動的認証」を行うことで、セキュリティを向上させています。

※EMVは米国およびその他の国における登録商標です。EMVの商標はEMVCoが所有しています。

※「CARDNET 3-D Secure ACSサービス2.0」はJCNが提供する「EMV 3-D Secure」規格に準拠した「ACS（Access Control Server）」サービスです。

サービス構成図



※④～⑧は、③の結果がチャレンジの場合のみ発生するもの。

サービス導入 4 つのメリット

国際3ブランド対応

「JCB」「Visa」「Mastercard」に対応しています。

高性能リスクベース認証

アクセス履歴（デバイス情報、購入情報等）の情報を元に「不正リスク」を排除。高いユーザビリティと高性能機能をご提供します。

01

02

03

04

「現場対応に適した」 管理機能

「お客様への案内を受電中に回答できる」ことを目的とした、さまざまな状況が検索可能な管理機能をご提供します。

安価で負荷の少ない API（接続回線）運用

APIの接続回線は専用回線・IP-VPNのほか、既設のインターネット回線も利用可能。カード会社様のポリシーにより自由な選択が可能です。

> 3-D Secure 1.0と3-D Secure 2.0の違い

サービス性		3-D Secure 2.0のメリット
3-D Secure 1.0	3-D Secure 2.0	
専用認証画面へのパスワード入力	リスクベース認証を実施することで、カード会員様のパスワード入力省略が可能 ワンタイムパスワード等の動的認証を採用	・パスワード入力ストレス軽減 ・認証精度向上（フィッシング不可） ・取引離脱の減少 ・認証強化（ID/PW流出時リスク極小化）
ブラウザ決済のみ	スマホ、タブレット等の多様なデバイス、および各デバイスにおけるアプリ内決済に対応	・利便性向上 ・アプリ内決済における認証強化
決済分野のみ	デジタルウォレットへのカード情報登録等、非決済分野での利用を規定 リカーリング取引時の認証実施	・認証強化 ・パスワード入力ストレス軽減